

地区名 男鹿市・潟上市・南秋田郡

所在地 男鹿市船川港台島字鵜ノ崎

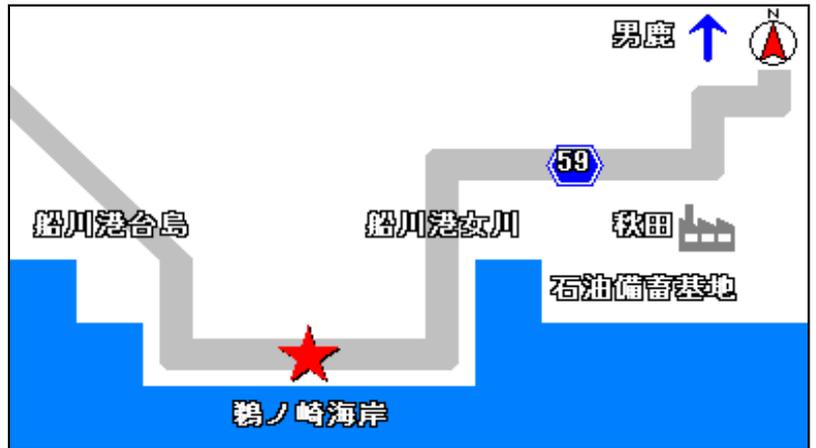
バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ ○ **水のはたらき**

露頭までの道のり

日本の渚100選にも選ばれる観光地。男鹿市外より県道59号線で入道崎方面を目指して進むと左手に表れる。遠浅の海岸が目印。

安全上の留意点



家族連れが訪れるような観光地であるので、地層観察上の注意というよりは水の事故や車の事故に気をつけることが主になる。岩石は硬質泥岩のため、割ることはせず手にとって裏返すなどで化石が見つかるので、ハンマーなどは携行しなくてよい。無理に割ると鋭い切れ口でけがの恐れがある。どうしても割りたい場合は軍手の着用が必要。

観察のポイント

- ①大きな地層の広がりを感じる。
- ②粒の細かい泥が固まった泥岩が見られること。
- ③化石が見つかること。

地質年代

新第三紀中新世後期(約1000万年前)

露頭概観

指導形式

B

解説

女川層と呼ばれる秋田県が深い海の底だった時代に堆積した泥の層(泥岩)が見られる。海岸に落ちている泥岩を裏返したり、注意して手で割ったりすると化石を見つけることができる。泥岩であること、化石が見つかることから、水のはたらきでできた土地であることを判断できる。

この観察場所で発見できる化石は、魚の骨や鱗、鮫の歯などがあり、県立博物館にも展示されている。海岸で活動した際に見つかる可能性の高いものは、魚の骨の一部やうろこである。尾頭付きは滅多にでない。



道路端の泥岩を注意深く観察することで十分、授業の活動ができる。背後の海で水の事故がないよう注意させたい。



手にとって触ってみると、たいへん硬い泥の石(泥岩)であることが分かる。化石は平べったい石で、黒ずんでいる場所に入っていることが多かった。



何の種類かは分からないが、小一時間の活動で魚の骨の化石をみつめることができた。